

意見発表者1 (会場③国土交通省利根川上流河川事務所)

意見の概要

私の住んでる地域は栃木県の最南端に位置し渡良瀬遊水地に面し思川巴波川に囲まれている閉鎖的な地区です。忘れもしない昭和22年9月のカスリーン台風では堤防が各所で決壊し水死者11名また多くの家屋が流失する被害を被りました。また2015年9月の関東東北豪雨では内水の増水また思川が増水し乙女水位観測所付近では堤防天端近くまで水位が上昇しました。渡良瀬遊水地に思川の洪水を取り込んで水位の上昇を抑えることができず堤防決壊という惨事を免がれませんがこの時私が思った事は上流にダムがあれば水の調節ができるのではなかつたかとの思いが頭の中を駆けめぐりました。特に近年は異常気象による大型台風や局所的に発生する集中豪雨は各地で災害を生させており私の地域でも大変不安を覚えています。思川の最下流の此地域の住民として上流にダムが本来水の調節がとの思いで早期の南蔵ダムの実現を願っております。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。